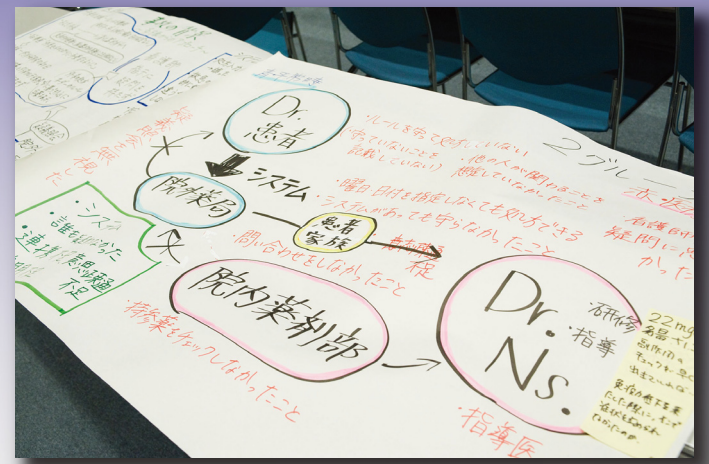


チームケアを目指した インタープロフェSSIONAL教育プログラム

— 医・看護医療・薬 学生合同ワークショップ —

増野 匡彦（薬学部教授）

将来医療へ貢献するためには、自分の職種だけでなく、他の医療専門職の特徴を理解し、お互いに十分なコミュニケーションをとることが非常に重要です。本プログラムでは、未来を先導する**医・看護医療・薬の医療系3学部**の学生たちが、臨床現場でチームケアを率先して実践し、質の高い医療を提供できる医療人になるために、学部、学年を問わず一堂に会し、**小グループ**で自由に討論する**ワークショップ**を開催しました。このような**多職種間のインタープロフェSSIONAL教育**により、学生は各医療専門職の役割についての理解を深めると共に、学習に対するモチベーションを高めることができました。



1. リスクマネジメント

2008年6月14日（土）～15日（日）

参加者 学生50名（医6, 看22, 薬22）

教員29名（医7, 看7, 薬15）

グループワーク

「3学部でコラボできる学習を考えてみよう！」

「リウマトレックスの過剰投与－問題点の抽出と解決策」

フィードバックレクチャー

「医療事故が起こるメカニズムと対策について」

「薬剤過量投与による医療事故の調査結果について」



2. インフォームド・コンセント

2008年11月30日（日）

参加者 学生33名（医4, 看8, 薬20, 法1）

教員14名（医2, 看3, 薬9）

グループワーク

「シナリオを考えてみよう－がん患者へのインフォームド・コンセント」

フィードバックレクチャー

「患者の自己決定とインフォームド・コンセント」

「インフォームド・コンセント－医療者の立場から」



活動メンバー（所属・職位はプログラム実施時のもの）

- | | |
|--------|--|
| 薬学部 | 増野匡彦 教授
小林静子 特任教授
江原吉博 教授
望月真弓 教授
石川さと子 専任講師 |
| 医学部 | 天野隆弘 教授
佐藤徹 准教授
中島理加 助教 |
| 看護医療学部 | 小池智子 准教授
茶園美香 准教授 |